

「2016年の回顧と2017年の展望」

副題: 『景気回復に向けて、いま
為すべきことは?』

コンサルタント部会

2015年-2016年は為替の影響と輸入の減少でブラジルは自国最高の貿易収支を計上

輸出額でみた三大輸出品目

2015-2016年全体に占める%*

大豆



16.1%

輸送機器・部品



11.4%

金属、鉱物

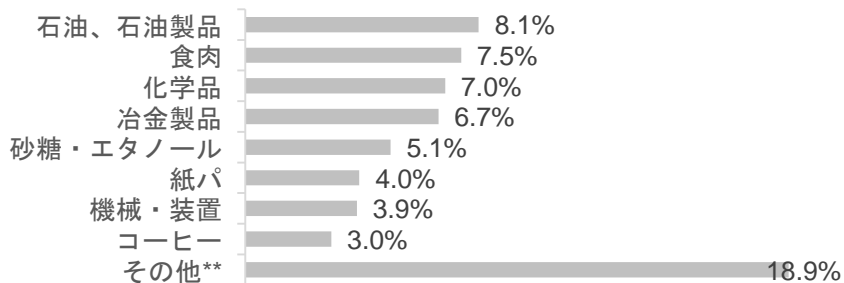


8.4%

注: *2016年10月現在 出所: Industry, External Trade and Services Ministry, 2016.

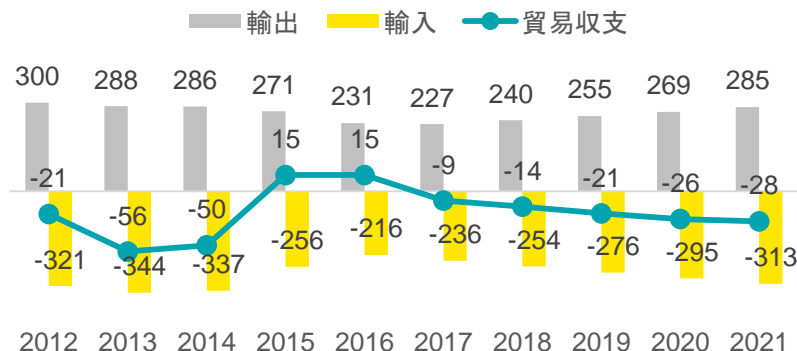
5つの商品グループが2015年の1月-2016年10月にブラジルの輸出の半分を占める: 鉄鉱石、大豆、原油、砂糖、食肉。

品目別に見る物品6位以下の輸出実績 2015/16^[1]



注: * 2016年10月現在 出所: Industry, External Trade and Services Ministry, 2016.

ブラジルの総合貿易収支*, US\$B



注: * 物とサービス. 出所: Oxford Economics, 2016

物品の輸出 US\$B

153.086

↓ -4.6% 2015/1月-2016/10月

物品の輸入 US\$B

114.562

↓ -22.7% 2015/1月-2016/10月

サービス輸出 US\$B

33.646

↓ -0.4% 2015/1月-2016/10月

サービス輸入 US\$B

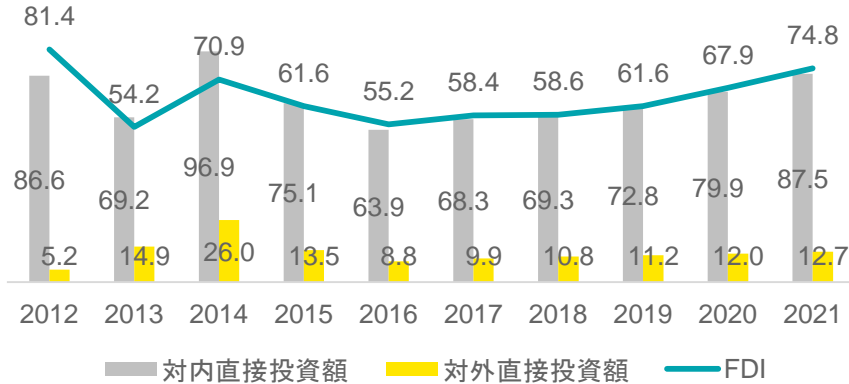
63.382

↓ -10.3% 2015/1月-2016/10月

出所: Industry, External Trade and Services Ministry, 2016. Oxford Economics, 2016.

他のラ米諸国と比べて持続するブラジルの外国直接投資 (FDI)

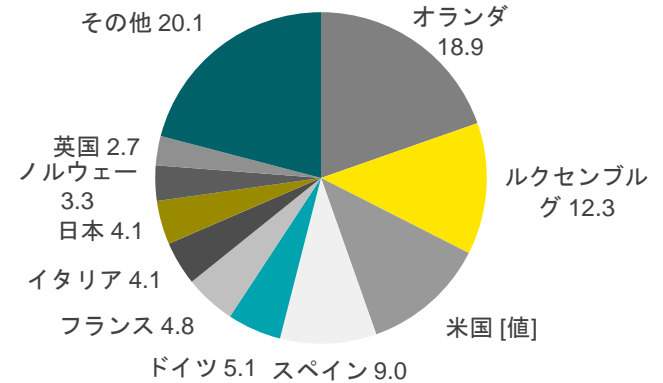
外国直接投資：キャピタルフロー US\$B



出所: Oxford Economics, 2016.

- ▶ ブラジルの深刻な不景気にもかかわらず多額の外国からの投資は止まっておらず、苦境時でも世界では同国が高い魅力を持つことを示す。
- ▶ ブラジルへの最近の主要投資案件は**高速道路、電力事業及びテレコム分野**に見られた。投資が極めて少ないのは**空港、鉄道や港湾**であり全FDI額の15%に過ぎない。
- ▶ 2016年9月中国での**G20 首脳会議**においてエンリケ・メイレーレス財務大臣は**US\$269B**の**インフラ・プロジェクト**計画を発表したことで**空港、鉄道や港湾**への投資増大が期待される。

投資国別FDI, 2015/16, US\$

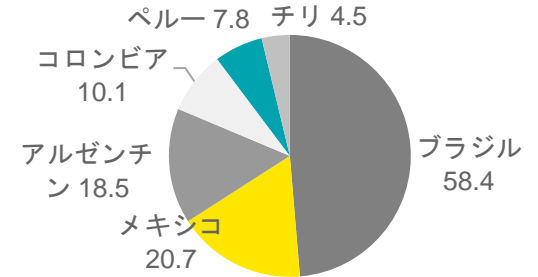


注 * 2015年から2016年10月までの累積FDI額 出所: BCB, 2016.

2015-16年ブラジルへの最も投資したのは欧州連合 (EU)。大半はサービス業への投資。

2017年もブラジルはラ米諸国の中で最大のFDI投資先になる見通し。

ラ米におけるFDI 2017年, US\$B



出所: Oxford Economics, 2016.

構造改革を必要としているがブラジルは世界で最も魅力的な投資先

経済成長の原動力

1 – 政治的、制度的な環境



政権が変わったことによるビジネス信頼度の向上で投資の増大が見込める。



エンリケ・メイレーレスによる「オーソドックス」なマクロ経済政策で市場の乱高下は減少。



新たな憲法改正で2016年末に公共支出の凍結が承認。



財政赤字を長期的に均衡に戻すために不可欠な年金制度改革は2017年に実現化する可能性が高い。



新国際貿易政策では新しい二国間および地域間（EU等）貿易協定を主要経済と追求する見込み。

2 – 経済環境



新しいコンセッションと民営化計画では2018年までにBRL1104億（~US\$330億）が提示。



ブラジルの中央銀行は基準金利の金融緩和サイクルを始め2017年の資本コストは低下。



産業活動は2016年にどん底に陥ったが2017年にはビジネスマインドは緩やかな回復へと移行。

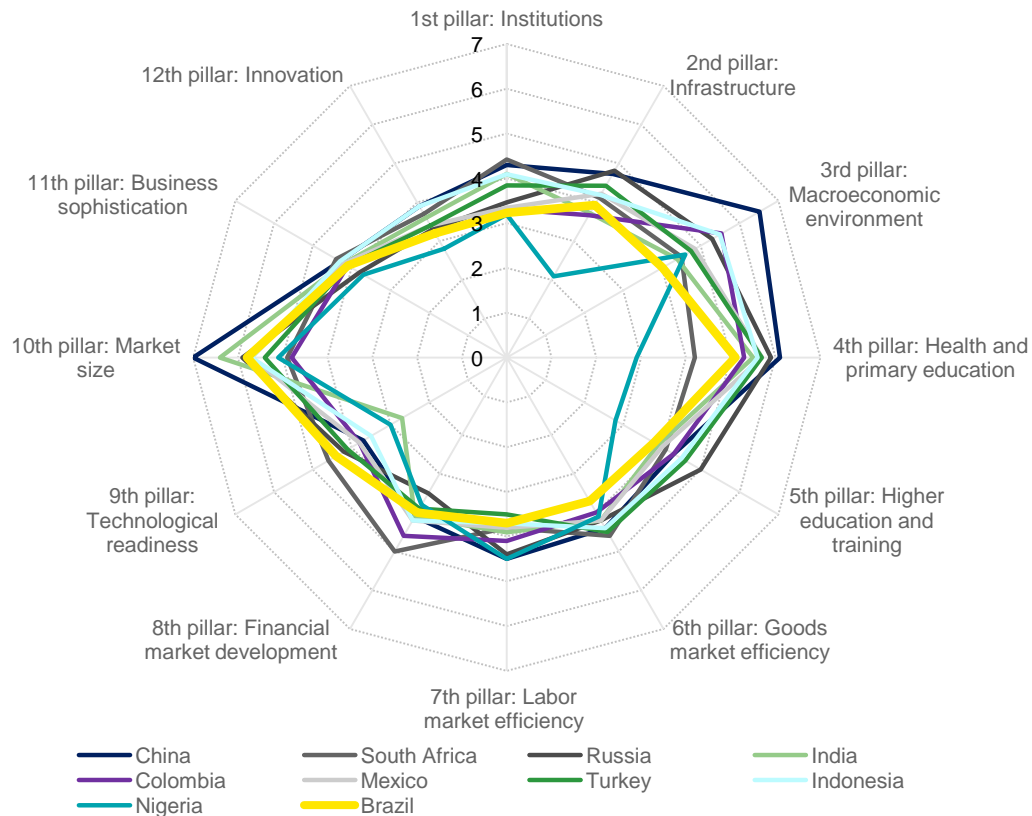


ブラジルはラ米で最大のFDIシェアを持つ。2017年には世界で7番目に多くのFDI額を得ると見られている。



巨大な消費者ベースがあり豊富な炭化水素、鉱物、農業資源を有する。

Global competitiveness analysis



- ▶ The *Global Competitiveness Report 2016-2017* assesses the competitiveness landscape of 138 economies, providing insight into the drivers of their productivity and prosperity. The different aspects of competitiveness are captured in 12 pillars, which compose the Global Competitiveness Index.
- ▶ China ranks 28th and continues to lead the BRICS economies by a wide margin—well ahead of India (39th), Russia (43rd), South Africa (47th), and Brazil (81st).
- ▶ Brazil lost its 4th position among BRICS to India in 2015 and ranks 81st in the overall rank this year.
- ▶ Brazil's still-weak macroeconomic environment is negatively impacting the country's competitiveness: Corruption scandals have undermined trust in institutions (120st). Important reforms are also needed to provide higher-quality education (84th) and to increase the Brazilian infrastructure system (72nd).
- ▶ Brazil's most important competitiveness strength is its extremely large market size (8th).
- ▶ Addressing these weaknesses, for Brazil as for other BRICS economies, will require implementing reforms, winning political stability and engaging in productive investments.

M&Aバロメーター*

▶ ブラジル

- ▶ 30%は政治不安定はコアビジネスとM&A戦略にとってリスクである。
- ▶ 31%はブラジル経済にポジティブに期待している。6ヶ月前は3%であった。
- ▶ 6ヶ月間に比べ収益もあがり、短期市場安定や株式評価の向上をポジティブに期待している。
- ▶ ブラジルでは業務分野の融合（セクターコンバージョン）はデジタルテクノロジーの次に重要なアジェンダとしている。
- ▶ 但し、59%はオーガニックな形で拡大する予定である。
- ▶ 6ヶ月前は11%であったのに対し63%は国内のM&Aに前向きである。
- ▶ 42%はこの12ヶ月にM&Aすることを考えている。
- ▶ 73%は5件以上のパイプラインを持っている。
- ▶ 6ヶ月前は5%であったのに対し27%は過去12ヶ月に比べディールを前向きに考えている。

▶ 世界

- ▶ 57%がM&Aを前向きに考えているがJVなどパートナーシップを考えている。
- ▶ 企業が買収する資産についてはディスラプションを念頭に置きイノベーションは不可欠であるとしている。
- ▶ ディールは小さいのがパイプラインに多い
- ▶ セクターコンバージョンにより顧客重視、テイラーメイドのソリューションが求められている。

*EY監査法人で行われた顧客への調査

景気回復に向けて、いま為すべきことは？

▶ インフラ投資

▶ 経済回復計画

- ▶ 新政府は社会保障と労働法改正を提案
- ▶ 民間との提携インフラ特についても推進（特に空港、鉄道、水や電気事業など）
 - 契約法的拘束力
 - 民間の意見
 - 融資

▶ 戦略

- ▶ デジタルテクノロジー、業務分野の融合（セクターコンバージェンス）、アナリティック

▶ 労務ストラクチャリング

- ▶ ロボティックス

▶ DD慎重に

- ▶ 与信管理—無理な販売は回避
- ▶ キャッシュフローの管理強化

国外環境

Globalizationの反動

米欧の保護主義化

America First
Brexit

多国間協定 ➡ 二国間協定

ブラジル

日本

国内政治・社会混乱の終息化

社会正義 (Justiça Social)の醸成

左翼Populismの減退

構造改革の方向性
財政支出削減、民営化、
労働改革、社会保険改革

友好国



補完性

米中中心の貿易・投資の
多様化

資源・食料の供給源確保

製品・サービス販売市場の
多様化

地政学リスク（紛争）の
回避

親日国、日系社会の存在